

福山市教育委員会会議（第11回）議事日程

2022年（令和4年）1月21日
午後2時00分 於：教育委員室

- | | | | |
|--------|-------|--------------------------------------------|---|
| 日程第1 | | 教育委員会会議録の承認について | |
| 日程第2 | | 教育長の報告について | |
| | | 教育長報告 | 1 |
| | | 事務局報告 | |
| | | 1 学校再編に伴う開校準備委員会の設置について | 2 |
| | | 2 2021年度（令和3年度）広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査について | 3 |
| 日程第3 | 議第61号 | 2023年度（令和5年度）福山市立福山高等学校の入学選抜の基本方針について | 7 |
| * 日程第4 | 議第62号 | 学校における働き方改革取組方針の改定について | |
| * 日程第5 | 協議事項 | 第三次福山市教育振興基本計画の策定について | |
| * 日程第6 | 協議事項 | 福山市子ども読書活動推進計画（第三次）の策定について | |

* は非公開予定

教育長報告

| | | | |
|-----|-----|---|--------------------------|
| 12月 | 23日 | 木 | 表敬訪問〔福山東雲会，福山南剣友会〕 |
| | 24日 | 金 | 寄附受納式〔ポウサイズ〕 |
| | 25日 | 土 | 子ども議会 |
| | 26日 | 日 | 高校生会議（ローズコム） |
| | 27日 | 月 | 広島県公立学校校長会連合会研究大会（オンライン） |
| | 28日 | 火 | 表敬訪問〔高校生平和大使〕 |
| | 29日 | 水 | |
| | 30日 | 木 | |
| | 31日 | 金 | |
| 1月 | 1日 | 土 | |
| | 2日 | 日 | |
| | 3日 | 月 | |
| | 4日 | 火 | 新年互礼会（福山ニューキャッスルホテル） |
| | 5日 | 水 | 中学校長研修（研修センター） |
| | 6日 | 木 | 小学校長研修（三吉コミュニティセンター） |
| | 7日 | 金 | |
| | 8日 | 土 | |
| | 9日 | 日 | |
| | 10日 | 月 | |
| | 11日 | 火 | |
| | 12日 | 水 | 第1回開校準備委員会（加茂小） |
| | 13日 | 木 | |
| | 14日 | 金 | |
| | 15日 | 土 | |
| | 16日 | 日 | |
| | 17日 | 月 | |
| | 18日 | 火 | |
| | 19日 | 水 | |
| | 20日 | 木 | |
| | 21日 | 金 | 第11回教育委員会会議 |

1 学校再編に伴う開校準備委員会の設置について

(1) 設置

福山市立山野小学校，広瀬小学校及び加茂小学校，山野中学校，広瀬中学校及び加茂中学校をそれぞれ再編し，2023年（令和5年）4月に新たな学校を設置するに当たり，開校に向けて必要な事項を協議するため，2022年（令和4年）1月12日に，開校準備委員会を設置した。

(2) 協議事項

校名，校歌，校章，通学，服装，PTA，地域連携その他開校に関する必要な事項

(3) 委員会の構成

再編対象校の保護者及び地域住民の代表者，校長並びに教育委員会事務局管理部長（25人）

(4) 開催状況

ア 第1回 1月12日

イ 内容

- ・委員長及び副委員長の選出
- ・協議スケジュールの確認
- ・校名，校歌，校章について

(参考)

開校までの主な取組

| 年 度 | 内 容 |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 2021年度 (令和3年度) | ・開校準備委員会の開催・協議 ・児童生徒の交流事業の実施 ・教育課程の編成・学校運営に係る協議 ・備品等整備 ・校舎等改修工事 |
| 2022年度 (令和4年度) | 上記に加え ・学校説明会 |

2 2021年度（令和3年度）広島県児童生徒の体力・運動能力，運動習慣等調査について

(1) 対象

小学校5年生及び中学校2年生（義務教育学校を含む。以下同じ。）

(2) 実施期間

2021年（令和3年）4月から2021年（令和3年）7月まで

(3) 種目

小学校5年生：8種目

中学校2年生：9種目

〔 ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン
⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ボール投げ ⑨持久走（中学校のみ） 〕

(4) 結果（県平均以上の種目）

ア 本年度

(ア) 小学校5年生

男子：7種目（握力，上体起こし，長座体前屈，反復横とび，20mシャトルラン，50m走，立ち幅とび）

女子：7種目（握力，上体起こし，反復横とび，20mシャトルラン，50m走，立ち幅とび，ボール投げ）

(イ) 中学校2年生

男子：4種目（握力，反復横とび，50m走，立ち幅とび）

女子：5種目（握力，長座体前屈，反復横とび，立ち幅とび，ボール投げ）

イ 5年間の推移（県平均以上の種目数）

(ア) 小学校5年生

| | 2017(H29) | 2018(H30) | 2019(R1) | 2020(R2) | 2021(R3) |
|----|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| 男子 | 7 | 6 | 6 | — | 7 |
| 女子 | 7 | 8 | 5 | — | 7 |

※ 2020年度（令和2年度）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため，中止。以下同じ。

(イ) 中学校2年生

| | 2017(H29) | 2018(H30) | 2019(R1) | 2020(R2) | 2021(R3) |
|----|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| 男子 | 7 | 4 | 7 | — | 4 |
| 女子 | 8 | 7 | 8 | — | 5 |

(5) 今後の取組

各学校は、自校の体力・運動能力、運動習慣等調査結果及び児童生徒質問紙の回答を基に、「子どもが主体となった体力向上計画」を作成し、体力の向上に取り組む。

- ・ 課題のある種目において、体力を高める運動を体育の授業や準備運動、家庭学習に取り入れるなど、継続的に取り組めるようにする。
- ・ 体育の授業において、児童生徒が自己目標を立て、達成するための運動を自分で考えて実践したり、学習端末の動画機能を活用してフォームの改善点を話し合ったりするなど、主体的に記録等の向上に取り組めるようにする。
- ・ 体育的行事や休憩時間の外遊びなど、コロナ禍においてもできることを児童生徒と教職員が一緒に考えて実施し、運動の楽しさを感じられるようにする。

(備考)広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査の対象及び指標の変更について

2019年(平成31年)3月に策定された「第2期広島県スポーツ推進計画」では、政策目標として「スポーツを通じた健康長寿の達成とスポーツ参画人口の拡大」、成果指標として「20歳以上の県民のスポーツ実施率」が示された。

それを受け、県教育委員会は、児童生徒の生涯にわたる運動習慣の確立に向け、体力向上の施策を見直すとともに、体力・運動能力、運動習慣等調査の対象及び指標を、次のとおり変更した。

○ 2019年度(令和元年度)まで

〔対象〕 全児童生徒

〔指標〕 体力合計点(各種目の記録を得点化した合計)において全国トップ

○ 2020年度(令和2年度)から

〔対象〕 小学校5年生及び中学校2年生

〔指標〕 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツが「嫌い」「やや嫌い」と感じている児童生徒の割合の減少

(別表)

2021年度(令和3年度)広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査

<小学校5年生>

ア 本年度

※網掛けは県平均以上

| | | 握力 (kg) | 上体起こし (回) | 長座体前屈 (cm) | 反復横とび (点) | 20mシャトルラン (回) | 50m走 (秒) | 立ち幅とび (cm) | ボール投げ (m) | 体力合計点 (点) |
|----|---|------------|--------------|---------------|--------------|------------------|-------------|---------------|--------------|--------------|
| 男子 | 市 | 16.28 | 20.38 | 33.62 | 42.54 | 48.57 | 9.24 | 157.31 | 22.68 | 54.80 |
| | 県 | 16.11 | 19.59 | 33.62 | 41.44 | 47.77 | 9.39 | 153.22 | 22.71 | 53.99 |
| | 差 | 0.17 | 0.79 | 0.00 | 1.10 | 0.80 | 0.15 | 4.09 | -0.03 | 0.81 |
| 女子 | 市 | 16.28 | 19.38 | 37.38 | 40.67 | 40.54 | 9.46 | 150.33 | 14.42 | 56.81 |
| | 県 | 16.17 | 18.86 | 37.96 | 39.89 | 38.87 | 9.58 | 146.89 | 14.25 | 56.03 |
| | 差 | 0.11 | 0.52 | -0.58 | 0.78 | 1.67 | 0.12 | 3.44 | 0.17 | 0.78 |

イ 過去5年間の推移

[県平均以上の種目数]

| | 2017(H29) | 2018(H30) | 2019(R1) | 2020(R2) | 2021(R3) |
|----|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| 男子 | 7 | 6 | 6 | — | 7 |
| 女子 | 7 | 8 | 5 | — | 7 |

[県平均以上の種目]

(○: 県平均以上)

| | | 2017(H29) | 2018(H30) | 2019(R1) | 2020(R2) | 2021(R3) |
|----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| 男子 | 握力 | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 上体起こし | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 長座体前屈 | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 反復横とび | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 20mシャトルラン | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 50m走 | ○ | | | — | ○ |
| | 立ち幅とび | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | ボール投げ | | | | — | |
| 女子 | 握力 | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 上体起こし | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 長座体前屈 | ○ | ○ | | — | |
| | 反復横とび | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 20mシャトルラン | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 50m走 | ○ | ○ | | — | ○ |
| | 立ち幅とび | ○ | ○ | | — | ○ |
| | ボール投げ | | ○ | ○ | — | ○ |

<中学校2年生>

ア 本年度

※網掛けは県平均以上

| | | 握力 (kg) | 上体起こし (回) | 長座体前屈 (cm) | 反復横とび (点) | 20mシャトルラン (回) | 50m走 (秒) | 立ち幅とび (cm) | ボール投げ (m) | 持久走 (秒) | 体力合計点 (点) |
|----|---|------------|--------------|---------------|--------------|------------------|-------------|---------------|--------------|------------|--------------|
| 男子 | 市 | 29.60 | 26.38 | 44.16 | 52.39 | 78.55 | 7.91 | 200.05 | 20.84 | 426.21 | 42.02 |
| | 県 | 28.90 | 26.55 | 44.29 | 52.02 | 80.26 | 7.94 | 196.60 | 20.95 | 408.05 | 42.32 |
| | 差 | 0.70 | -0.17 | -0.13 | 0.37 | -1.71 | 0.03 | 3.45 | -0.11 | -18.16 | -0.30 |
| 女子 | 市 | 23.52 | 22.43 | 46.99 | 47.15 | 53.65 | 8.82 | 168.76 | 13.78 | 308.68 | 49.56 |
| | 県 | 23.40 | 23.12 | 46.95 | 47.13 | 54.50 | 8.79 | 168.69 | 13.42 | 299.72 | 50.00 |
| | 差 | 0.12 | -0.69 | 0.04 | 0.02 | -0.85 | -0.03 | 0.07 | 0.36 | -8.96 | -0.44 |

イ 過去5年間の推移

[県平均以上の種目数]

| | 2017(H29) | 2018(H30) | 2019(R1) | 2020(R2) | 2021(R3) |
|----|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| 男子 | 7 | 4 | 7 | — | 4 |
| 女子 | 8 | 7 | 8 | — | 5 |

[県平均以上の種目]

(○：県平均以上)

| | | 2017(H29) | 2018(H30) | 2019(R1) | 2020(R2) | 2021(R3) |
|----|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| 男子 | 握力 | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 上体起こし | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 長座体前屈 | ○ | | ○ | — | |
| | 反復横とび | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 20mシャトルラン | ○ | | | — | |
| | 50m走 | ○ | | | — | ○ |
| | 立ち幅とび | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | ボール投げ | | | ○ | — | |
| | 持久走 | | | ○ | — | |
| 女子 | 握力 | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 上体起こし | ○ | ○ | ○ | — | |
| | 長座体前屈 | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 反復横とび | ○ | ○ | | — | ○ |
| | 20mシャトルラン | ○ | | ○ | — | |
| | 50m走 | ○ | | ○ | — | |
| | 立ち幅とび | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | ボール投げ | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 持久走 | | ○ | ○ | — | |

議第61号

2023年度（令和5年度）福山市立福山高等学校の入学者選抜の基本方針について

2023年度（令和5年度）福山市立福山高等学校の入学者選抜の基本方針については、別紙のとおりとする。

(別紙)

福山市立福山高等学校の入学選抜は、併設型中高一貫教育の特色に配慮して、次によりその教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行うものとする。

1 一次選抜

次のとおり実施する。

(1) 選抜の方法

ア 学力検査

(ア) 原則として、自校が作成した検査問題により学力検査を実施する。

- a 実施教科は、国語、数学及び外国語（英語）の3教科とする。
- b 実施時間は、福山高等学校長が決定する。
- c 配点は、福山高等学校長が決定する。
- d 検査問題は、福山市教育委員会と協議の上、福山高等学校長が作成する。
- e 検査問題は、平成29年文部科学省告示の中学校学習指導要領に準拠した内容とする。

(イ) 福山高等学校長は、社会及び理科の一般学力検査を加えて実施することができる。

イ 調査書

(ア) 学習の記録の評定及び合計評点

- a 第1学年及び第2学年の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語については、それぞれ指導要録に従って5段階で評定する。
- b 第3学年の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語については、それぞれ指導要録に従って5段階で評定した評点を3倍する。
- c 調査書の合計評点は、上記a及びbを合計した225点満点とする。

(イ) 特記事項については、選抜の資料として活用する。

ウ 自己表現

(ア) 自己を認識する力、自分の人生を選択する力及び表現する力をみるために、自己表現カードを活用し、個人ごとの面談形式で実施する。

(イ) 自己表現カードの様式は、県教育委員会が作成する。

(ウ) 実施時間は、1人当たり10分以内とする。

(エ) 配点は、検査官1人当たり15点満点とする。

なお、福山高等学校長は、2～3人の範囲内で検査官の人数を定める。

エ 学校独自検査

福山高等学校長は、面接、作文、小論文及び実技検査等を実施することができる。

(2) 合格者の決定

ア 特色枠による選抜

福山高等学校長は、入学定員の50%以内において、次のとおり、合格者を決定することができる。

(ア) 福山高等学校長は、学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重を定め、学力検査、調査書及び自己表現の結果を総合的に判断して決定する。

(イ) 学力検査及び調査書について、福山高等学校長は、特定の教科のみを活用することができる。また、特定の教科の配点に比重をかける傾斜配点を実施することができる。

イ 一般枠による選抜

学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重は6：2：2とし、学力検査、調査書及び自己表現の結果を総合的に判断して決定する。

なお、学力検査について、福山高等学校長は、特定の教科の配点に比重をかける傾斜配点を実施することができる。

ウ 特色枠による選抜を実施した場合は、特色枠による選抜により合格者を決定した後、一般枠による選抜により合格者を決定する。

エ 学校独自検査を実施した場合は、その結果を選抜の資料に加えて、総合的に判断して決定する。

2 二次選抜

一次選抜の結果、合格者(入学を辞退した者を除く。)の数が入学定員に満たない場合、次により実施する。

(1) 選抜の方法

ア 調査書

(ア) 学習の記録の評定及び合計評点

a 第1学年及び第2学年の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語については、それぞれ指導要録に従って5段階で評定する。

b 第3学年の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語については、それぞれ指導要録に従って5段階で評定した評点を3倍する。

c 調査書の合計評点は、上記a及びbを合計した225点満点とする。

(イ) 特記事項については、選抜の資料として活用する。

イ 自己表現

(ア) 自己を認識する力、自分の人生を選択する力及び表現する力をみるために、自己表現カードを活用し、個人ごとの面談形式で実施する。

(イ) 自己表現カードの様式は、県教育委員会が作成する。

(ウ) 実施時間は、1人当たり10分以内とする。

(エ) 配点は、検査官1人当たり15点満点とする。

なお、福山高等学校長は、2～3人の範囲内で検査官の人数を定める。

ウ 学校独自検査

福山高等学校長は、学力検査以外の面接、作文、小論文及び実技検査等を実施することができる。

(2) 合格者の決定

ア 福山高等学校長は、調査書及び自己表現の配点の比重を定め、調査書及び自己表現の結果を総合的に判断して決定する。

イ 学校独自検査を実施した場合は、その結果を選抜の資料に加えて、総合的に判断して決定する。

3 帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜

国語、数学及び外国語（英語）の学力検査、自己表現及び面接の結果（学校独自検査を実施した場合は、その結果を加える。）並びに出願書類を総合的に判断して選抜する。

4 その他

入学者選抜の結果に係る簡易開示については、別に定めるところによる。